

匝瑳市地域公共交通計画 新旧対照表

改 正 後	改 正 前
序 計画策定の目的と位置付け 略 1 公共交通に関する現況把握 略 2 市民などの意向把握アンケート調査の実施 略 3 地域公共交通を取り巻く課題整理 略 4 地域公共交通の構築に係る基本方針（１） 略 （２）公共交通網のあり方 １）～２） 略 3）交通結節点のあり方 ■公共交通骨格形成イメージ	序 計画策定の目的と位置付け 略 1 公共交通に関する現況把握 略 2 市民などの意向把握アンケート調査の実施 略 3 地域公共交通を取り巻く課題整理 略 4 地域公共交通の構築に係る基本方針（１） 略 （２）公共交通網のあり方 １）～２） 略 3）交通結節点のあり方 ■公共交通骨格形成イメージ

5 計画の目標及び実施事業

(1) 計画の目標 略

(2) 実施事業

基本方針	目標	事業	実施主体					実施時期(年度)						
			匠 磋 市	交通事業者			その他 関係者	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年	令和 8年	令和 9年
				千 葉 県	鉄 道	バ ス	タク シー							
1 広域アクセス やまちづくりとの 連携を図った 利便性の高い公 共交通網の構築 を目指す	①拠点間及び地 域間の連携強化 に資する公共交 通網の形成	【1】市内循環バスの再編	○			○	○	再編 検討	準備				運行実施	
		【2】タクシーの利用促進	○				○	情報検討 ・作成				周知PR		
		【3】スクールバスの有効活用	○									検討・協議・調整		
	②広域アクセス の強化	【4】JR総武本線 の利用促進	○	○	○							開催・周知PR		
		【5】高速バスの利 便性向上	○			○						実施		
		【6】路線バスの利用促進	○	○		○						実施		
2 各公共交通機 関同士の相互連 携や、誰もが利 用しやすい環境 整備による利便 性向上を目指す	③利用しやすい 公共交通環境の 整備	【7】交通結節点の機能強化	○		○	○	○					検討・協議・調整・実施		
		【8】サイクル&バスライドの導入	○			○						検討・協議・調整・実施		
		【9】利用しやすい車両（バス・タク シー）の導入促進	○	○		○	○					更新検討・順次導入		
	④利用者目線に 立った分かりや すい運行情報の 提供	【10】運行情報提 供の充実	○		○	○	○	情報検討 ・作成				周知PR		
		【11】商業施設な どとの連携サー ビスの導入	○			○		企画検討				実施		
		おでかけモデル プランの作成	○		○	○	○	検討・ 作成				周知PR		
3 多様な主体と の連携によるま ちづくりと一体 となった持続可 能な公共交通を 目指す	⑤地域全体で支 える公共交通の 構築	【12】意識啓発を 促す利用促進活動の 展開	○			○		検討・ 準備				実施		
		公共交通ニュー スの発行	○		○	○	○	検討・ 準備				作成・周知		
		【13】運転手の確保	○		○	○	○	検討・ 準備				実施		
		【14】進行管理・評価体制の強化	○	○	○	○	○					実施		

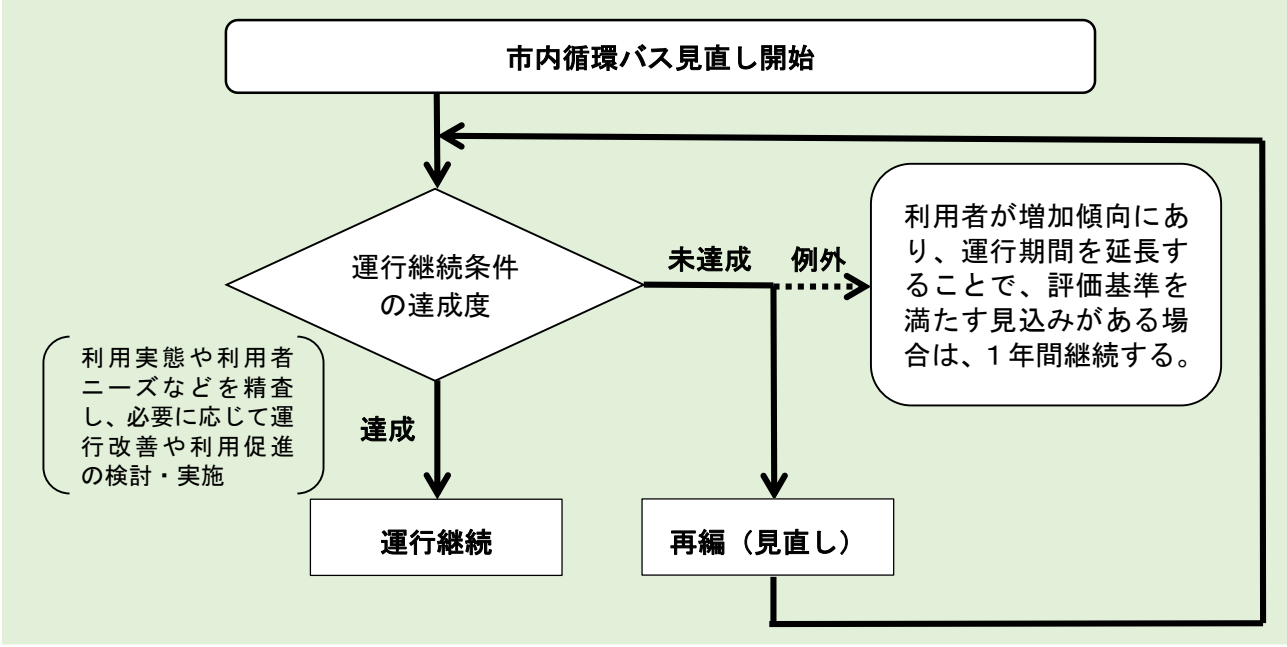
5 計画の目標及び実施事業

(1) 計画の目標 略

(2) 実施事業

基本方針	目標	事業	実施主体					実施時期(年度)						
			匠 磋 市	交通事業者			その他 関係者	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年	令和 8年	令和 9年
				千 葉 県	鉄 道	バ ス	タク シー							
1 広域アクセス やまちづくりとの 連携を図った 利便性の高い公 共交通網の構築 を目指す	①拠点間及び地 域間の連携 強化に資する 公共交通網の 形成	【1】市内循環バスの再編	○			○		再編 検討	準備				運行実施	
		【2】タクシーの利用促進	○				○	情報検討 ・作成				周知PR		
		【3】スクールバスの有効活用	○									検討・協議・調整		
		【4】匠磋市民病院無料送迎バスの利用促進	○									協議・ 調整	周知PR	
	②広域アクセ スの強化	【5】JR総武本線 の利用促進	○	○	○							開催・周知PR		
		【6】高速バスの利 便性向上	○			○						検討・協議・調整・実施		
		【7】路線バスの利用促進	○	○		○						実施		
2 各公共交通機 関同士の相互連 携や、誰もが利 用しやすい環境 整備による利便 性向上を目指す	③利用しやすい 公共交通環境 の整備	【8】交通結節点の機能強化	○		○	○	○					検討・協議・調整・実施		
		【9】サイクル&バスライドの導入	○			○						検討・協議・調整・実施		
		【10】利用しやすい車両（バス・タク シー）の導入促進	○			○	○					更新検討・順次導入		
	④利用者目線 に立った分か りやすい運行 情報の提供	【11】運行情報提供 の充実	○		○	○	○	情報検討 ・作成				周知PR		
		【12】商業施設など の連携サービスの 導入	○			○		企画検討				実施		
		おでかけモデル プランの作成	○		○	○	○	検討・ 作成				周知PR		
3 多様な主体と の連携によるま ちづくりと一体 となった持続可 能な公共交通を 目指す	⑤地域全体で 支える公共交 通の構築	【13】意識啓発を促 す利用促進活動の展 開	○			○		検討・ 準備				実施		
		公共交通ニュー スの発行	○		○	○	○	検討・ 準備				作成・周知		
		【14】運転手の確保	○		○	○	○	検討・ 準備				実施		
		【15】進行管理・評価体制の強化	○	○	○	○	○					実施		

(3) 事業推進に向けた実施体制 略 (4) 実施事業の概要 目標1 拠点間及び地域間の連携強化に資する公共交通網の形成 【事業1】市内循環バスの再編 ※地域公共交通利便増進事業 ①事業概要 <u>市内循環バスの豊栄・匝瑳循環及び椿海・豊和循環は、高齢者の通院や学生の通学、買い物等の日常生活の交通手段として、生活に必要なものとして機能している。なお、市の財政負担だけでは、当該循環の運行を維持することは難しいことから、匝瑳市地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、利便増進特例が適用されている間、地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統補助）を活用して、運行を行い、市民の生活交通手段を確保・維持する。</u> <u>また、匝瑳市デマンド型交通は、市内循環バスの再編に伴う、路線の統廃合（6路線から5路線に縮小）により、新たに交通不便地域が生じることや、停留所まで徒歩での移動が困難な高齢者等への対応として運行している。デマンド型交通も市内循環バスと同様に、市の財政負担だけでは、運行を維持することは難しいことから、地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統補助）を活用して、運行を行い、市民の生活交通手段を確保・維持する。</u> <u>今後は運行評価の手順（次頁参照）に基づき、継続的に評価・検証しながら再編を行う。</u> ②実施主体：匝瑳市、バス事業者、<u>タクシー事業者、地域</u> ③実施時期 略 【運行評価（継続・運行見直し・廃止）の手順】 市内循環バスは、<u>毎年利用状況や収支状況を匝瑳市地域公共交通活性化協議会に報告し、運行継続の可否を判断する。</u> 市内循環バスの維持・見直し（改善）の運行継続条件を満たす場合は、運行状況の把握・評価を継続する。運行継続条件を満たしておらず、2年続けて運行継続条件を満たしていない場合は再編する。 ただし、運行継続条件を満たしていない場合においても、利用者が増加傾向にあり、運行期間を延長することにより、運行継続条件を満たす見込みがあると判断される場合には運行を継続する。 なお、評価手順及び運行継続条件は、<u>利用者の移行期間が必要なことから、事業開始後の利用状況や収支状況を把握した上で作成する。</u>	(3) 事業推進に向けた実施体制 略 (4) 実施事業の概要 目標1 拠点間及び地域間の連携強化に資する公共交通網の形成 【事業1】市内循環バスの再編 ※地域公共交通利便増進事業 ①事業概要 <u>市内循環バスについては、利便性向上と効率的な運行となるよう、地域交通利用料助成事業との役割分担を図りながら、現行の運行方式（定時定路線型、バス車両）だけでなく、乗合タクシー（ワゴンボックス車両など）やデマンド型交通など新たな交通手段との組合せを視野に入れた再編を検討する。</u> <u>また、市民の目的地が集中する中心部・東西方向（国道126号沿線）の強化を支援する新たな交通手段の可能性を検討する。</u> <u>検討に当たっては、待ち時間の少ない円滑な乗継環境を提供するため、鉄道（JR総武本線）や路線バス・多古本線のダイヤに合わせた市内循環バスの発着時間の調整を行う。</u> <u>具体的な再編内容については、令和3年度に策定予定の「匝瑳市地域公共交通利便増進実施計画」で検討するとともに、運行評価の手順（次頁参照）に基づき、継続的に評価・検証しながら再編を行う。</u> ②実施主体：匝瑳市、バス事業者、<u> </u>、<u>地域</u> ③実施時期 略 【運行評価（継続・運行見直し・廃止）の手順】 市内循環バスは、<u>令和4年度から毎年利用状況や収支状況を匝瑳市地域公共交通活性化協議会に報告し、運行継続の可否を判断する。</u> 市内循環バスの維持・見直し（改善）の運行継続条件を満たす場合は、運行状況の把握・評価を継続する。運行継続条件を満たしておらず、2年続けて運行継続条件を満たしていない場合は再編する。 ただし、運行継続条件を満たしていない場合においても、利用者が増加傾向にあり、運行期間を延長することにより、運行継続条件を満たす見込みがあると判断される場合には運行を継続する。 なお、評価手順及び運行継続条件は<u>令和3年度に策定予定の「匝瑳市地域公共交通利便増進実施計画」で検討する。</u>
--	--



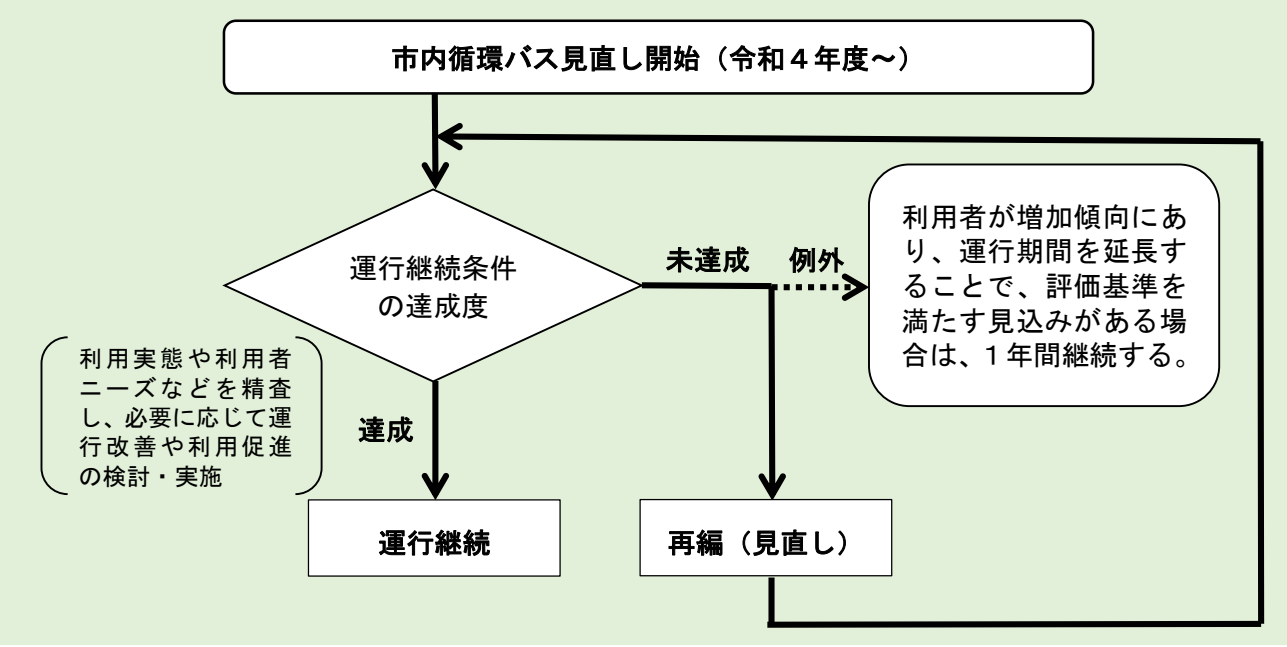
【再編後の市内循環バスの運行概要】

市内循環バスは、運転免許証を持っていない学生や高齢者など、交通弱者（移動制約者）の通学・通院、買い物など日常生活の交通手段の確保のため、運行している。

各循環の1運行当りの平均所要時間は、1時間～1時間10分となっている。

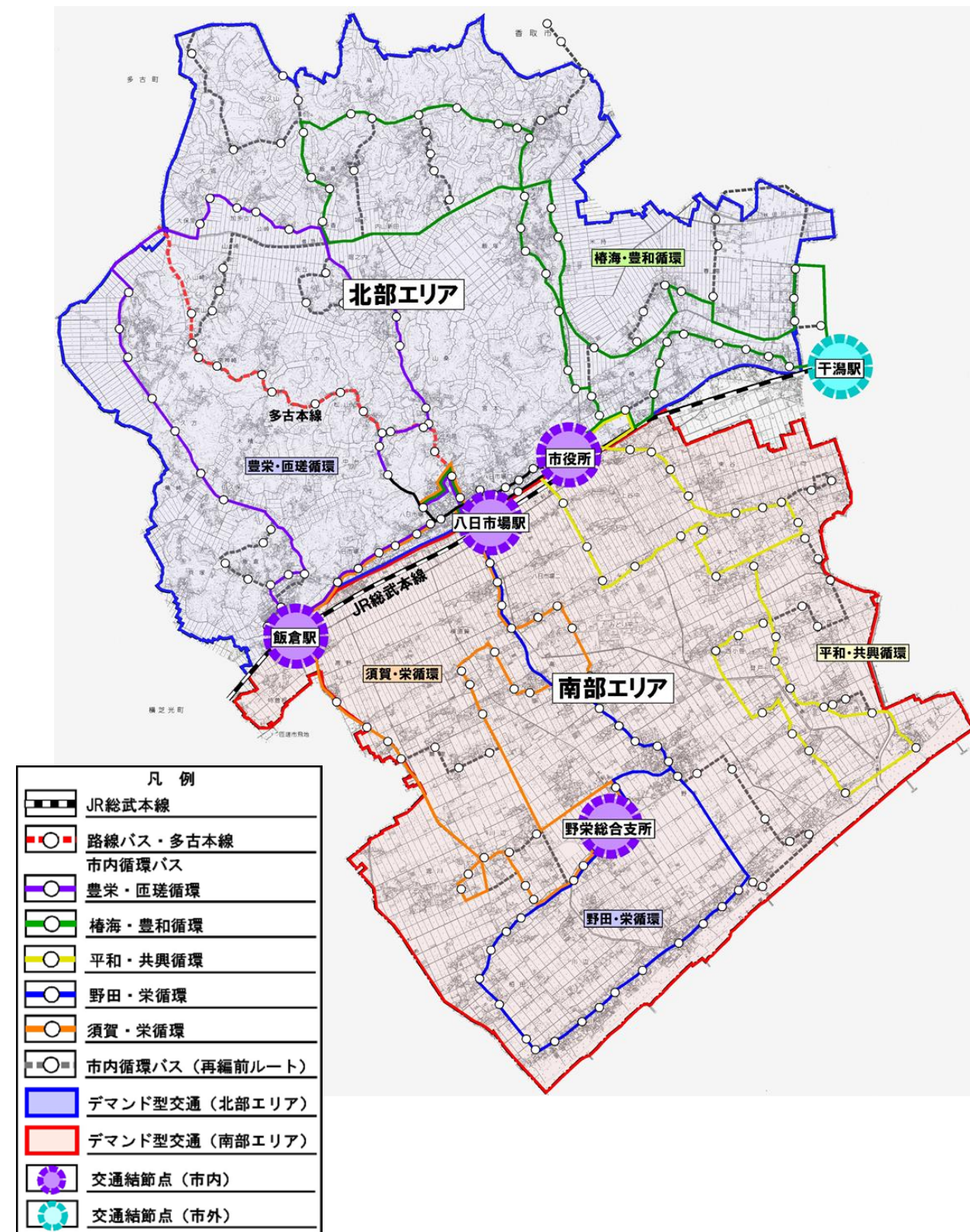
■市内循環バスの運行サービス

路線数	5ルート（豊栄・匝瑳循環、椿海・豊和循環、平和・共興循環、須賀・栄循環、野田・栄循環）
運行日	月曜日から土曜日（運休日：日曜日、祝日、年末年始）
運行便数	各ルート6便（野田・栄循環のみ7便）
運行車両	5台（日野ポンチョショート2台、トヨタハイース3台）
運賃	・基本運賃：200円（小学生・中学生、運転経歴証明書をお持ちの方など100円） ・一日自由乗車券：400円 ・回数乗車券：2,000円（全路線共通200円券×11枚） ・定期乗車券 普通定期券（全路線）：6,400円（1か月）、18,200円（3か月）、34,500円（6か月） 通学定期券（全路線）：4,000円（1か月）、11,400円（3か月）、21,600円（6か月）
運行事業者	JRバス関東㈱、千葉交通㈱



新規

【再編後の公共交通ネットワーク】



新規

- 【事業2】タクシーの利用促進 略
- 【事業3】スクールバスの有効活用 略
- 削除

目標② 広域アクセスの強化

- 【事業4】JR総武本線の利用促進
- 【事業5】高速バスの利便性向上

①事業概要

令和4年9月17日から運行を開始した、高速バス「銚子東京線」の利用促進を図るため、市役所駐車場がパーク＆ライド用駐車場として開放していることや、飯倉台停留所にパーク＆ライド用駐車場を確保していることを周知する。

- 【事業2】タクシーの利用促進 略
- 【事業3】スクールバスの有効活用 略
- 【事業4】匝瑳市民病院無料送迎バスの利用促進

①事業概要

匝瑳市民病院へのアクセスは無料送迎バスのほか、市内循環バスや路線バス・多古本線が運行しているものの、主要施設利用者アンケート調査（匝瑳市民病院）で不便度を感じる方の割合が24.4%を占め、特に80歳代や運転免許がない方でその割合が高くなっている。

匝瑳市民病院無料送迎バスの有効活用を検討するに当たっては、バス事業者への影響を十分考慮する必要があるが、路線バス・多古本線のバス停（市民病院入口）は匝瑳市民病院からやや離れた位置にあり、市民病院入口バス停での利用者は少ない状況のため、影響は小さい。

このため、市内循環バスや路線バス・多古本線を補完するよう、匝瑳市民病院と連携し、広報紙や市ホームページなどで周知するなど利用促進を図る。

②実施主体：匝瑳市、その他関係者（匝瑳市民病院）

③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）						
		令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
匝瑳市民病院無料送迎バスの利用促進	協議・調整	→	→					
	周知PR			→	→	→	→	→

目標② 広域アクセスの強化

- 【事業5】JR総武本線の利用促進
- 【事業6】高速バスの利便性向上

①事業概要

高速バス「匝瑳・富里～東京線」については、年間乗降者数が平成27年度から平成30年度にかけて増加したものの、令和元年6月29日のダイヤ改正（減便：9.5往復/日→7往復/日）により減少し、さらに、令和2年度の新型コロナウイルス感染症の拡大による影響もあり、利用者が減少し、路線の維持が厳しい状況となっている。

このため、市役所駐車場がパーク＆ライド用駐車場として開放していることを周知するとともに、他の高速バス停留所付近にパーク＆ライド用駐車場の整備を検討するなど利便性向上を図る。

②実施主体：バス事業者、匝瑳市

③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）						
		令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
パーク＆ライド用 駐車場の利用促進	実施							

【事業6】路線バスの利用促進

①事業概要

路線バス・多古本線は、八日市場駅と成田駅を結ぶ広域な移動を担う重要な幹線公共交通として、
運行している。なお、バス事業者の財政負担だけでは、当該路線の運行を維持することは難しいこと
から、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）などを活用し、維持する。
また、市ホームページでのバス利用の情報提供を行うとともに、沿線の千葉県立匝瑳高等学校の生
徒に対し、バスの時刻表や定期券などの情報を記載したチラシを配布する。

目標③ 利用しやすい公共交通環境の整備

【事業7】交通結節点の機能強化

【事業8】サイクル&バスライドの導入

【事業9】利用しやすい車両（バス・タクシー）の導入促進

【事業10】運行情報提供の充実

【事業11】商業施設などとの連携サービスの導入

目標⑤ 地域全体で支える公共交通の構築

【事業12】意識啓発を促す利用促進活動の展開

【事業13】運転手の確保

【事業14】進行管理・評価体制の強化

②実施主体：バス事業者、匝瑳市

③実施時期

事業	実施項目	実施時期（年度）						
		令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
パーク＆ライド用 駐車場の整備	検討、協議・調整、 実施							

【事業7】路線バスの利用促進

①事業概要

路線バス・多古本線は、八日市場駅と成田駅を結ぶ広域な移動を担う重要な幹線公共交通として、
地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）などを活用し、維持する。
また、市ホームページでのバス利用の情報提供を行うとともに、沿線の千葉県立匝瑳高等学校の生
徒に対し、バスの時刻表や定期券などの情報を記載したチラシを配布する。

目標③ 利用しやすい公共交通環境の整備

【事業8】交通結節点の機能強化

【事業9】サイクル&バスライドの導入

【事業10】利用しやすい車両（バス・タクシー）の導入促進

【事業11】運行情報提供の充実

【事業12】商業施設などとの連携サービスの導入

目標⑤ 地域全体で支える公共交通の構築

【事業13】意識啓発を促す利用促進活動の展開

【事業14】運転手の確保

【事業15】進行管理・評価体制の強化

(5) 計画目標の達成状況を評価するための評価指標

基本方針	目標	評価指標	現状値	目標値	備考
1 広域アクセスやまちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す	①拠点間及び地域間の連携強化に資する公共交通網の形成	市内循環バス利用者数 ※令和5年4月1日～再編	—	41,756人	※1
		デマンド型交通1日平均利用者数 ※令和5年4月1日～運行開始	—	26.4人	※2
		地域交通利用料助成事業利用者数 ※現状値：令和元年度	821人	979人	※3
		公共交通サービス全般の利用者満足度 ※現状値：令和2年8月	36.6%	39.2%	※4
		市内循環バス利用者満足度 ※現状値：令和2年8月	74.1%	79.3%	※5
	②広域アクセスの強化	八日市場駅1日平均乗車人員 ※現状値：令和元年度	1,762人	1,674人	※6
		高速バス（銚子東京線） 年間乗降者数 ※令和4年9月17日～運行開始 ※令和5年6月1日～改正	—	16,548人	※7
		路線バス（多古本線） 年間乗降者数 ※現状値：令和4年6月22日調査	101,470人	102,485人	※8
2 各公共交通機関同士の相互連携や、誰もが利用しやすい環境整備による利便性向上を目指す	③利用しやすい公共交通環境の整備	交通結節点整備箇所数	—	4箇所	※9
	④利用者目線に立った分かりやすい運行情報の提供	運行情報案内に関する利用者満足度 ※現状値：令和2年8月	41.8%	44.7%	※10
		商業施設などとの連携による利用促進活動の導入件数	—	1件以上	※11
3 多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す	⑤地域全体で支える公共交通の構築	乗り方教室参加者数	—	延150人以上	※12
		市内循環バス収支率 ※現状値：令和元年度	10.6%	12.0%	※13
		公共交通への公的資金投入額 ※現状値：令和元年度	8,057万円	8,057万円以内	※14

(5) 計画目標の達成状況を評価するための評価指標

基本方針	目標	評価指標	現状値	目標値	備考
1 広域アクセスやまちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す	①拠点間及び地域間の連携強化に資する公共交通網の形成	市内循環バス利用者数 ※現状値：令和元年度	51,549人	46,394人	※1
		地域交通利用料助成事業利用者数 ※現状値：令和元年度	821人	979人	※2
		公共交通サービス全般の利用者満足度 ※現状値：令和2年8月	36.6%	39.2%	※3
		市内循環バス利用者満足度 ※現状値：令和2年8月	74.1%	79.3%	※4
	②広域アクセスの強化	八日市場駅1日平均乗車人員 ※現状値：令和元年度	1,762人	1,674人	※5
		高速バス（匝瑳・富里～東京線） 年間乗降者数 ※現状値：令和元年度	9,416人	6,591人	※6
2 各公共交通機関同士の相互連携や、誰もが利用しやすい環境整備による利便性向上を目指す	③利用しやすい公共交通環境の整備	交通結節点整備箇所数	—	4箇所	※7
	④利用者目線に立った分かりやすい運行情報の提供	運行情報案内に関する利用者満足度 ※現状値：令和2年8月	41.8%	44.7%	※8
		商業施設などとの連携による利用促進活動の導入件数	—	1件以上	※9
3 多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す	⑤地域全体で支える公共交通の構築	乗り方教室参加者数	—	延150人以上	※10
		市内循環バス収支率 ※現状値：令和元年度	10.6%	12.0%	※11
		公共交通への公的資金投入額 ※現状値：令和元年度	8,057万円	8,057万円以内	※12

- ※1 令和2年度利用者数×再編による減少率見込み95%（6路線→5路線）
- ※2 1日1台当たりの利用者数13.2人×2台
- ※3 900人＋〔（900人－821人）÷4年間×4〕注）900人：第2次匠瑳市総合計画・令和5年度目標値
- ※4 市民アンケート調査による鉄道、路線バス・市内循環バス、高速バス及びタクシーの運行サービス満足度（利用者）のうち、各項目における「満足」＋「やや満足」の割合を年に1%のペースで向上
- ※5 市内循環バス利用者アンケート調査による運行サービスに対する満足度のうち、「満足」＋「やや満足」の割合を年に1%のペースで向上
- ※6 令和元年度1日平均乗車人員×直近3年間利用者減少率5%を維持
- ※7 市内バス停の（令和5年6月1日～令和5年9月30日）乗降者数×3
- ※8 （八日市場駅～JR成田駅）1日の乗降者数278人×365日×1.01
- ※9 交通結節点として位置付けた八日市場駅、飯倉駅、匠瑳市役所、野栄総合支所の4箇所
- ※10 市民アンケート調査による鉄道、路線バス・市内循環バス、高速バス及びタクシーの運行サービス満足度（利用者）のうち、運行情報案内で「満足」＋「やや満足」の割合を年に1%のペースで向上
- ※11 商業施設などとの連携サービスを1件以上実施
- ※12 乗り方教室を令和5年度から年1回参加者30人程度、延べ5回実施
- ※13 直近5年間平均収支率12%
- ※14 現況公的資金投入額：市内循環バス7,143万円＋地域交通利用料助成事業914万円

6 計画の達成状況の評価

- （1）目標の達成状況や社会情勢の変化に伴う計画の見直し 略
- （2）評価の方法及びスケジュール

■評価指標と関連調査評価方法との関係

目標	評価指標	関連調査評価方法		
		利用者数 実績・整理	市民 アンケート調査	市内循環バス 利用者アンケート調査
①拠点間及び地域間の連携強化に資する公共交通網の形成	市内循環バス利用者数	○ ※1		
	デマンド型交通1日平均利用者数	○ ※1		
	地域交通利用料助成事業利用者数	○ ※1		
	公共交通サービス全般の利用者満足度		○	
	市内循環バス利用者満足度			○
②広域アクセスの強化	八日市場駅1日平均乗車人員	○ ※1		
	高速バス（銚子東京線）年間乗降者数	○ ※1		
	路線バス（多古本線）年間乗降者数	○ ※1		
③利用しやすい公共交通環境の整備	交通結節点整備箇所数	○ ※2		
④利用者目線に立った分かりやすい運行情報の提供	運行情報案内に関する利用者満足度		○	
	商業施設などとの連携による利用促進活動の導入件数	○ ※2		
⑤地域全体で支える公共交通の構築	乗り方教室参加者数	○ ※2		
	市内循環バス収支率	○ ※3		
	公共交通への公的資金投入額	○ ※3		

- ※1 令和元年度利用者数×令和2年度利用者減少率見込み10%を維持
- ※2 900人＋〔（900人－821人）÷4年間×4〕注）900人：第2次匠瑳市総合計画・令和5年度目標値
- ※3 市民アンケート調査による鉄道、路線バス・市内循環バス、高速バス及びタクシーの運行サービス満足度（利用者）のうち、各項目における「満足」＋「やや満足」の割合を年に1%のペースで向上
- ※4 市内循環バス利用者アンケート調査による運行サービスに対する満足度のうち、「満足」＋「やや満足」の割合を年に1%のペースで向上
- ※5 令和元年度1日平均乗車人員×直近3年間利用者減少率5%を維持
- ※6 市内バス停からの令和元年度乗降者数×令和2年度減便率30%を維持
- ※7 交通結節点として位置付けた八日市場駅、飯倉駅、匠瑳市役所、野栄総合支所の4箇所
- ※8 市民アンケート調査による鉄道、路線バス・市内循環バス、高速バス及びタクシーの運行サービス満足度（利用者）のうち、運行情報案内で「満足」＋「やや満足」の割合を年に1%のペースで向上
- ※9 商業施設などとの連携サービスを1件以上実施
- ※10 乗り方教室を令和5年度から年1回参加者30人程度、延べ5回実施
- ※11 直近5年間平均収支率12%
- ※12 現況公的資金投入額：市内循環バス7,143万円＋地域交通利用料助成事業914万円

6 計画の達成状況の評価

- （1）目標の達成状況や社会情勢の変化に伴う計画の見直し 略
- （2）評価の方法及びスケジュール

■評価指標と関連調査評価方法との関係

目標	評価指標	関連調査評価方法		
		利用者数 実績・整理	市民 アンケート調査	市内循環バス 利用者アンケート調査
①拠点間及び地域間の連携強化に資する公共交通網の形成	市内循環バス利用者数	○		
	地域交通利用料助成事業利用者数	○		
	公共交通サービス全般の利用者満足度		○	
	市内循環バス利用者満足度			○
②広域アクセスの強化	八日市場駅1日平均乗車人員	○		
	高速バス（ <u>匠瑳・富里～東京線</u> ）年間乗降者数	○		
③利用しやすい公共交通環境の整備	交通結節点整備箇所数	○		
④利用者目線に立った分かりやすい運行情報の提供	運行情報案内に関する利用者満足度		○	
	商業施設などとの連携による利用促進活動の導入件数	○		
⑤地域全体で支える公共交通の構築	乗り方教室参加者数	○		
	市内循環バス収支率	○		
	公共交通への公的資金投入額	○		

※1 事業者からのデータ提供 ※2 整備箇所数、導入件数及び参加者数の把握 ※3 事業者からのデータ提供及び一般会計決算から算出 ■関連調査概要 <table><tr><th>種別</th><th>主な調査項目</th></tr><tr><td>市民アンケート調査</td><td> ・回答者の属性 ・日常の移動のしやすさと日常生活の移動実態 ・公共交通（鉄道、路線バス・市内循環バス、高速バス、タクシー、<u>デマンド型交通</u>）の利用実態と意識・要望 ・公共交通の今後のあり方 </td></tr><tr><td>市内循環バス利用者アンケート調査</td><td> ・利用者属性 ・利用特性（乗車・降車バス停、往復利用有無、利用頻度、利用目的） ・運行サービスの満足度と改善して欲しいサービス </td></tr></table> 付録 用語集 略 付録 匝瑳市地域公共交通活性化協議会 略	種別	主な調査項目	市民アンケート調査	・回答者の属性 ・日常の移動のしやすさと日常生活の移動実態 ・公共交通（鉄道、路線バス・市内循環バス、高速バス、タクシー、<u>デマンド型交通</u>）の利用実態と意識・要望 ・公共交通の今後のあり方	市内循環バス利用者アンケート調査	・利用者属性 ・利用特性（乗車・降車バス停、往復利用有無、利用頻度、利用目的） ・運行サービスの満足度と改善して欲しいサービス	■関連調査概要 <table><tr><th>種別</th><th>主な調査項目</th></tr><tr><td>市民アンケート調査</td><td> ・回答者の属性 ・日常の移動のしやすさと日常生活の移動実態 ・公共交通（鉄道、路線バス・市内循環バス、高速バス、タクシー_____）の利用実態と意識・要望 ・公共交通の今後のあり方 </td></tr><tr><td>市内循環バス利用者アンケート調査</td><td> ・利用者属性 ・利用特性（乗車・降車バス停、往復利用有無、利用頻度、利用目的） ・運行サービスの満足度と改善して欲しいサービス </td></tr></table> 付録 用語集 略 付録 匝瑳市地域公共交通活性化協議会 略	種別	主な調査項目	市民アンケート調査	・回答者の属性 ・日常の移動のしやすさと日常生活の移動実態 ・公共交通（鉄道、路線バス・市内循環バス、高速バス、タクシー_____）の利用実態と意識・要望 ・公共交通の今後のあり方	市内循環バス利用者アンケート調査	・利用者属性 ・利用特性（乗車・降車バス停、往復利用有無、利用頻度、利用目的） ・運行サービスの満足度と改善して欲しいサービス
種別	主な調査項目												
市民アンケート調査	・回答者の属性 ・日常の移動のしやすさと日常生活の移動実態 ・公共交通（鉄道、路線バス・市内循環バス、高速バス、タクシー、<u>デマンド型交通</u>）の利用実態と意識・要望 ・公共交通の今後のあり方												
市内循環バス利用者アンケート調査	・利用者属性 ・利用特性（乗車・降車バス停、往復利用有無、利用頻度、利用目的） ・運行サービスの満足度と改善して欲しいサービス												
種別	主な調査項目												
市民アンケート調査	・回答者の属性 ・日常の移動のしやすさと日常生活の移動実態 ・公共交通（鉄道、路線バス・市内循環バス、高速バス、タクシー_____）の利用実態と意識・要望 ・公共交通の今後のあり方												
市内循環バス利用者アンケート調査	・利用者属性 ・利用特性（乗車・降車バス停、往復利用有無、利用頻度、利用目的） ・運行サービスの満足度と改善して欲しいサービス												